学校番号	４０５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「論理国語」　（第一学習社）						
副教材等	「新訂　総合国語便覧」（第一学習社） 「重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版） 「リテラ速読レッスン　実用　VOL１」（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生では内容の要旨を把握し、多角的な視野から本文を批評する力をより一層磨くことを心掛けましょう。
・評論的文章を「読む能力」、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」を同時に身に付け、それらを日常的に向上させ活用していきましょう。
・予習・復習として主体的に本文を音読などして繰り返し読むようにして下さい。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んで下さい。

２　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようとしている。	「書くこと」「読むこと」の領域において論理的・批判的に考える力を伸ばす。 また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、自分の考えを深め広げたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 また、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	例示と意見の関係を整理し言語と認識の関係を理解する。 ［教材］「言語が見せる世界」	a：言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする、言葉の働きについて理解している。 b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性・信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：文章の論理構成を把握し表現を読み取り筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	主張に説得力を持たせる論展開を捉え、筆者の抱く概念について考察する。 ［教材］「いのちのかたち」	a：言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする、言葉の働きについて理解している。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について多面的・多角的な視点から評価している。 c：文章の論理展開や表現を読み取り筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	筆者の考えを根拠とともに読み取る。社会での人間のありようについて考える。 ［教材］「リスク社会とは何か」	a：言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする、言葉の働きについて理解している。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：文章の論理展開や表現を読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	筆者の考えを根拠とともに読み取る。社会での人間のありようについて考える。 ［教材］「コスモポリタニズムの可能性」	a：言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする、言葉の働きについて理解している。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について多面的・多角的な視点から評価している。 c：文章の論理展開や表現を読み取り筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
二学期	筆者の論展開を支える文章表現上の工夫を理解して主張を捉える。 ［教材］「目に見える制度と見えない制度」	a：主張とその前提のような、情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：重要語を一つ一つ読み解きながら本筋を追うことで全体像を把握する。 c：文章の論理展開や表現を読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	筆者が考える「問題の本質」の内容を論拠とともに読み取る。 ［教材］ 「「である」ことと「する」こと」	a：言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする、言葉の働きについて理解している。 b[読]：具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、理解を深める。 c：文章の論理展開や表現を読み取り筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート
	明治期の論説文における文語体に触れ、時代背景をふまえながら筆者の主張する内容を理解する。	a：言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする、言葉の働きについて理解している。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート

	［教材］ ［漫罵］	b[読]：音読を繰り返しさせることで文体そのものに慣れさせ、古典の古文との違いを意識させ、内容を正確に把握する。 c：文章の論理展開や表現を読み取り筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			
三学期	筆者の述べていることを理解し、自分の考えを述べる。 ［教材］「現代日本の開化」	a：言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする、言葉の働きについて理解している。 b[書]：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート
	作品を読み比べたうえで、内容について考察し、意見をまとめ発表することができている。 ［教材］ 「ジェンダー化された身体の行方」 「ヒトの進化と現代社会」	a：主張とその前提のような、情報と情報との関係について理解を深めている。 b[書]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：課題テーマについて積極的に自身の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめ積極的に発表しようとしている。	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 定期考査 ワークシート	ノート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間